

緒方洪庵 蘭方医，教育家。医師として優れた上，{松下村塾}より早く{適塾}を開き，維新に活躍する多くの人材を育てた。

おがたこうあん

・ ・ ・ ・ ・ 1810 = 備中国足守で藩の家臣の三男に生まれる。

水野忠成老中 1818 = 8歳 :

群書類従完結 1819 = 9歳 :

__医学に進む決心をし，

異国船打払令 1825 = 15歳 : 元服後，藩の大坂留守居役となった父に従って大坂に下り，

・ ・ ・ ・ ・ 1826 = 16歳 : __中天游の門に入る。

シブキ事件・ 1828 = 18歳 :

__西洋医学に関する訳書を殆ど読み尽くし，

富籤流行・ 1830 = 20歳 : __師の勧めで江戸に出て，辛苦を舐めた後，

富獄三十六景 1831 = 21歳 : __蘭学者坪井信道に入門。

__やがて塾頭となるが，今度は信道の勧めで，薬品に関する研究のため宇田川榛齋の門に出入り，

滑稽+人情本 1835 = 25歳 : 師天游が死去したため，当時江戸にいた父とともに一旦帰郷後，大坂に出，後を受けて蘭書を講じる。

・ ・ ・ ・ ・ 1836 = 26歳 : __長崎に遊学し，緒方洪庵と名乗って開業する傍ら，有志と「袖珍内外方叢」を訳して歓迎される。

大塩平八郎乱 1837 = 27歳 :

適塾オープン・ 1838 = 28歳 : 億川八重と結婚。*大坂に戻り，瓦町で医業に従事するとともに，蘭学塾(適塾(適々齋塾))を開く。

蚕社の獄・ 1839 = 29歳 : __医者の評判番付で前頭4枚目になるほど名声を得る。

塾では厳しさの中に独特の教育を行なって，各地から入門者が続き，姓名録に記名のあるのが612人，実際にはそれよりかなり多数の者がいたとされ，大村益次郎，福沢諭吉，佐野常民，橋本左内，大鳥圭介，長与専斎，高松凌雲，池田謙斎らを輩出して行く。

阿部正弘首座 1845 = 35歳 : __過書町の町家を購入して塾を移転し，一層の充実を図る。

孝明天皇・ 1846 = 36歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1848 = 38歳 : __本業の医学においても大関に上がり，

北斎没・ 1849 = 39歳 : *日本語で書かれた最初の病理学の編著「病学通論」を刊行。

また，種痘法の導入・普及に努力し，大坂に除痘館を設け分苗を行う。

ペリー来航・ 1853 = 43歳 :

開国開港・ 1854 = 44歳 : __憂国の至情を甥に書き送るなど，ますます熱心に取り組み，

安政大地震・ 1855 = 45歳 :

蕃書調所・ 1857 = 47歳 : 「扶氏経験遺訓」を訳して刊行。

五ヶ国条約・ 1858 = 48歳 : コレラ流行時にはいち早く，それに関する医書を刊行するなど，素早い反応をみせ，

桜田門外変・ 1860 = 50歳 :

生麦事件・ 1862 = 52歳 : *長年固持してきた幕府の奥医師に就任，西洋医学所頭取も兼ねて，法眼に叙せられたが，

8月18日政変 1863 = 53歳 : *在職わずか10ヵ月で咯血，急死した。